

主催：特定非営利活動法人愛知県自閉症協会・つぼみの会
共催：あいち発達障害者支援センター、名古屋市発達障害者支援センター

朝日新聞厚生文化事業団「『発達障がい』とともに生きる 豊かな地域生活応援助成」

つぼみきょうだい会セミナー

定員150名

日時：2025年11月16日（日） 13：00～16：00 ※受付開始12：30～

会場：名古屋市高齢者就業支援センター 5F 大会議室

（名古屋市昭和区御器所通3-12-1 御器所ステーションビル内）

※地下鉄鶴舞線・桜通線「御器所」②出入口東へ約40m、④出入口東へ約200m

※公共交通機関をご利用下さい。併設駐車場は利用不可。お車の方は各自で民間駐車場をご利用下さい

締切日

10月30日（木）

参加費 愛知県自閉症協会会員—無料
会員外—1,000円

『きょうだい』については、2000年発行の当会ニューズレターSHARE16号でも特集を組むほど、親たちにとっても悩ましい問題でしたが、2003年12月に初の試みとして、当事者向けのクリスマス会と同時開催で『きょうだい児むけクリスマス会』を開催しました。当時は当事者向けの活動にきょうだいたちが同行して参加していたため、託児の意味合いもありましたが、保護者の想いやきょうだいの子どもたちの「楽しい」にこたえる形で、それ以降、ご協力いただいている諏方先生のご指導のもと、22年にわたり『きょうだいによる きょうだいのための きょうだいだけの きょうだい会』をコンセプトに活動を実施しています。活動にご協力いただいているボランティアの方も、同じ立場のごきょうだいであり、子どもの気持ちに寄り添って活動を手助けして下さいます。『ヤングケアラー問題』が話題となって久しいですが、この会に参加している時は、きょうだい児ができるだけ「自分もいちばん」と感じられるように心がけています。

この活動に対し、2023年度から今年度までの3年間、朝日新聞厚生文化事業団様より助成をいただくことができました。助成に感謝いたしますとともに、その最終年度にあたり『つぼみきょうだい会セミナー』を企画いたしました。家族への支援は大切ですが、中でもきょうだい児への支援について、今回のセミナーがきっかけとなって、より深く考えていただける機会となれば幸いです。

ご家族はもとより、福祉、教育、医療関係など支援に携わる幅広い職種の皆様のご参加をお待ちしております。

内 容：①講演＝「障害のある子どものきょうだいへの影響と支援（仮）」

新家一輝様（名古屋大学大学院 医学系研究科看護科学 教授）

②インタビュー「きょうだいの想いをきく」（つぼみきょうだい会 OG、同ボランティア）

※成人したきょうだいの方お二人より、インタビュー形式で体験やいろいろな想いを伺います。

③講演＝「きょうだい会でのきょうだい支援～つぼみのきょうだい会の活動を通して～」

諏方智広様（つぼみきょうだい会指導者、特別支援学校教諭）

※つぼみきょうだい会について子どもたちの様子や活動の特徴、今後の活動についてなど

申込方法：＊イベント管理・チケット販売ウェブサービス《Peatix》を利用します。

<https://peatix.com/event/4537188>



《Peatix》からお申込みの際に、『会員向け』または『一般向け（会員外）』いずれかの『チケット』をご購入下さい。Peatixに関する不明点等は、参加者向けヘルプページ <https://help-attendee.peatix.com> に直接お問い合わせください。

- ＊講師へのご質問のある方は、お申込みの際、申込フォームへ内容を簡潔にご記入下さい。なお個人的なご質問につきましては、お子様や個別の状況等が分からないため、お受けできません。
- ＊講演当日でも、発言していただければお答えする予定にしておりますが、時間の都合上、全てのご質問にお答えすることはできませんので、あしからずご了承下さい。

『つぼみきょうだい会』の活動について

2003年冬から、会員向けの活動として小学生～中学生の定型発達の子ょうだい児を対象に年間登録制で行っています。ランチ会・クリスマス会・料理教室やスケート・スポッチャ・ボウリング、水族館や遊園地へ出かけるなどのレクリエーション活動と、障害のあるきょうだいのこと・家族のこと・自分のことを話し合う会なども含め、年に6回程度開催。親の目や障害のあるきょうだいの様子を気にせずに自分がメインで楽しむことができ、また同じ立場の者同士で悩みやいろいろな話ができる場所となっています。指導者、ボランティアなど運営に協力していただく方もごきょうだいの立場の方が多く、子どもたちに寄り添った活動をしていただいています。

にいのみかずてる

新家 一輝 様（看護師・博士(看護学)/名古屋大学大学院医学系研究科総合保健学専攻看護科学教授）

愛知県出身。2001年金沢大学卒業後、名古屋大学医学部附属病院小児科病棟で看護師としてのキャリアを開始。その後、大阪大学大学院に進学し、在学中より重い病気や障害のある子どものきょうだい支援を専門とするNPO法人しぶたねでの活動に従事（現理事）。また同時に、大阪府立箕面支援学校（肢体不自由児校）で勤務。学位取得後、名古屋大助教、大阪大助教、名古屋大准教授を経て2024年より現職。小児がん等慢性疾患や重症心身障害・医療的ケアのある子どもやきょうだい・家族との看護を探求している。NPO法人愛知こどもホスピスプロジェクト副代表、日本看護科学学会代議員ほか多数の団体の役員を兼務。

すわともひろ

諏方 智広 様（つぼみきょうだい会指導者／公認心理師・特別支援学校教諭）

名古屋市出身。三重大学教育学部卒業後、横浜市中学校教員として勤務。在職中の2005年に横浜国立大学教育学研究科修了。その後も横浜市の教員として勤務。現在は特別支援学校に勤務している。2003年から愛知自閉症児・者親の会（現・愛知県自閉症協会・つぼみの会）のきょうだい会の指導者を務め、横浜市においても「横浜きょうだいの会」の代表としてきょうだい会活動を行っている。著書：「きょうだいー障害のある家族との道のりー」中央法規出版

以下をご了承の上、ご参加下さい

- ・当日の講演を録音・録画・撮影等をしないことが参加条件になります。資料にないスライド等についての撮影もご遠慮下さい。
- ・資料については、講師の著作物となります。今回の講演の際のみの個人使用とし、SNS投稿や他者への配布・無断転載等の行為は、禁止としますので、ご了承下さい。

お問合せ先

この研修についてのお問い合わせは、下記までお願いします。

講師の所属先等への直接のお問合せはご遠慮下さい。

＊Peatixの「主催者へ連絡」「問い合わせ」機能でもお問い合わせできます。

特定非営利活動法人 愛知県自閉症協会・つぼみの会

(TEL/ 052-938-6571、FAX/ 052-938-8242、E-mail tubomi-aa@nifty.com)